

大木徳武佐

島袋 利蔵 (1893・M26) 字古堅 (01 : 28)

何なとーがりれーや、あれー 昔、鹿児島島津家ぬ
沖繩あ攻みんが来くとうやー。初 え島尻から攻み
ーんでいすしが、彼処あ、けん守らつとーぐとう入り
ーさん、国頭からさーに攻みていっ来つ。

あんし、沖繩あ野蛮ぬうりるやくとう、鉄砲さー
に射りくじらつていやー。国頭、あんし沖繩や戦
ぬぶん農民ぬ達やクルマボーさーによ、戦ていあ
んそーたんりよー。なー大事んでいる事お分からんや
ー、鉄砲さーに射らりーぎーしが、なかなか死なん
たんでいよ。大事え分からんるあぐとう。

あんし、次第次第に其処んかい来つ来い、なー此処
つちえーなー、来るばー読谷山、此処までい来る
ばーよー。あんし、くりかー辺ぬ人お大木んでいる
所んかい避難しみていやー。彼処あ大木んでいる
所あ沢山ぬ大ぎ木ぬ生ていやー、なーふちゃーじ
いっペーそーる所やたんでいよー。

あんさーにそーしが、うぬ内地ぬ島津家ぬ軍隊、
其処までー来うーさんやー。あんし、うぬ武士ぬ大木
守ていやー。あんさーに徳ぬ有てーる武士んちやー、
彼処、徳武佐あ今造らつとーんでい。うぬ戦あ徳
ぬ有る武士ぬ守てい、徳ぬ有てーるうりでいち、な
ーうぬ恩返しとうし徳武佐ぬ拜み造らつとーん
でい。

【共通語訳】

そこはどういう所かというね、昔、鹿児島島津家が沖繩を攻めてきた。最初は島尻から攻めようとしたが、あそこは守りが堅くて入れなかったの、国頭から攻めたそう。

当時の沖繩は遅れていたの、敵は鉄砲で撃ちこんでくるのに、農民はクルマボー（穀竿）で戦っていたそう。それでも弾に当たることはなかったらしいよ。それにしても、怖いもの知らずだったんだね。

それでも、敵は次第に読谷山まで押し寄せてきたよう。それで、人々を近くへ避難させたわけだ。そこには大きな木が立ち並び、生い茂るその木々の葉に守られたそう。

そこに避難していたら、島津家の軍隊はそこまで入ることはできなかった。それで、その木々のおかげだということで、徳武佐という拜所になったんだった。その戦のときに、そこで助かったということで、恩返しとして徳武佐の拜みをするようになったそう。